

校訓
誠実

学校教育目標

「誠意（せい）意志（い）自立（じりつ）強さ（つよさ）」

重点目標

愛

いっぱい

学校経営目標

「対話」と「自分で決める」で、
社会性をもった自立した子どもを育てる

「対話」を重視した
寄り添う支援

子どもたちの生きる力を育んでいくためには、まずは子どもを理解することが必要です。そのために、子どもとの「対話」を重視して、子どもに寄り添うことを大切にします。そして、自分の生き方を自ら考え、決定していけるようにはたらきかけます。

「学びの魅力」が
つくる授業

子どもたちの生きる力を育んでいくための柱は「授業」であると考え、「学びの魅力」を意識した授業を実践していきます。子ども一人一人の考えと、教材、子ども、教師それぞれの関わり合いを重視し、「主体的、対話的で深い学び」を目指します。

子どもを前面に
出した特別活動

子どもたちの生きる力を育んでいくためには、自ら考え、判断し、行動することが必要です。行事、生徒会活動、学級活動等では、子どもの発想と、関わり合いを重視し、できるだけ子どもに任せていくことで、子どもの自己有用感を高めることを目指します。

教職員の和「チーム富中」

子どもたちの成長を支えていくためには、教職員同士の支え合いが大切です。お互いの関わり合いや対話を大切にし、何でも言える温かな人間関係を築き、ハートフルな教職員集団「チーム富中」として、あらゆる教育活動にチームであたります。

保護者・地域との連携（コミュニティ・スクールの充実）

子どもたちの生活は、「家庭」「地域」が基盤になっています。子どもの生きる力を育むためには「家庭」や「地域」の教育力が欠かせません。私たちは保護者や地域の方々との連携に積極的に努め、共同して子どもたちの成長を支えていきます。

生徒及び教職員の安心・安全

- ・生徒及び教職員の安全が確保され、安心して生活できる環境を整えます。
- ・生徒及び教職員の心と体の健康を大切にします。